

2022年9月20日

PMAJ SIG 推進部会長殿

設立趣意書

PMAJ 奥田智洋

1. 新設提案 SIG 名

「価値創造型プロジェクトマネジメント人財育成研究会」

2. 提案者(発起人)

個人会員 奥田智洋 (株式会社アイ・ティ・イノベーション)

3. 活動の目的

デジタルトランスフォーメーション (DX) が注目される中、これまでのプロジェクトマネジメントも大きく変わろうとしている。一例で行くと、PMBOK®ガイドも第6版から第7版へ進み、これまでのプロセス中心の「やり方」から、原理・原則や必要なパフォーマンス領域などの「在り方」に考え方がシフトしてきている。

このような変化の中で、より高い価値を生み出すプロジェクトとは何か、そして、そのプロジェクトの先頭に立って推し進めるプロジェクトマネジャーには何が求められるのかを、今一度、見つめ直す時期にあると考える。

本 SIG では、高い価値創造プロジェクトおよびプロジェクトマネジャーを定義するとともに、PMAJ の中でも、多くの議論や継承がされてきた「夢工学」に着目し、価値創造プロジェクトの成功、つまり「夢」の実現に向けて、どのような人財を育てていかなければならないかを議論しながら、今後の具体的な取り組みについての提言を策定していく。

3. 活動内容 (案)

高い価値創造に関心のある PMAJ 会員有志が集い、次のような検討、定義、方策立案などのシェアリングを行う。

第1段階

- DX 時代の中、これまでのプロジェクトと価値創造型プロジェクトの違いの整理
- 価値創造型プロジェクトの推進上の課題の整理

第2段階

- 価値創造型プロジェクトでのプロジェクトマネジャーの位置づけ、役割の定義
- 現状のプロジェクトマネジャーとの必要スキルの差の整理

第3段階

- 価値創造型プロジェクトマネジャーの人財像の整理

第4段階

- 価値創造型プロジェクトマネジャー育成のプロセス案の整理
- 具体的な研修コンテンツの検討

4. 活動成果の PMAJ へのフィードバック

次のような方式を考える。

- ① 活動状況、中間成果短針などの PMAJ ジャーナル、オンラインジャーナルへの発信
- ② 同じく、月例会 B での発表
- ③ ある程度まとまった活動成果の年次 PM シンポジウムでの発表
- ④ 段階ごとの活動報告書の作成

5. 活動期間

とりあえず 2 年程度を考える。

6. メンバーの募集方法と運営ポリシー

(1) メンバー募集方法

- ・ PMAJ HP を通じての公募と SIG メンバーとなった方の紹介
- ・ 本 SIG のメンバーは、次の条件を満たす方
 - 上記活動内容のどれかにインプットを提供できる方
 - 活動の記録を文書化するなど、SIG の運営に貢献できる方

(2) 運営ポリシー

- ・ SIG 会合は月 1 回、メンバーで合意した時間帯に開催する。
- ・ 会合は、PMAJ または SIG メンバー企業の会議室、あるいはオンラインで実施する。
- ・ 運営はメンバー間の Give & Take 原則に基づく。
- ・ 情報交換に当たっては、企業機密保護の原則に抵触しないよう留意する。
- ・ 折に触れて SIG 外の知見のある方を招いて創発セミナー・ワークショップを開催する。

7. PMAJ にとってのメリット

- PMAJ 会員の共通の PM 関心事について掘り下げた研究活動を行うことで、PMAJ への求心力を高める。
- このような SIG の存在により PMAJ の会員獲得への PR 効果が期待でき、また産業界への PMAJ のアピールとなる。

8. 予算措置

別途検討

・

以上